

第15回
日本鍼灸史学会学術大会
プログラム

特別講演

「中国伝統文化における死生観と他界観」

立教大学経済学部経済政策学科教授 谷野典之

一般演題 34題

大会日程: 2007年11月24日(土)・25日(日)

大会会場: 京都アスニー 第2研修室

京都市中京区丸太町通七本松西入ル

TEL 075 - 802-3141

主催: 日本鍼灸史学会

<http://homepage3.nifty.com/rinbunkai/>

後援: 日本鍼灸研究会

講演日程

第1日 11月24日(土)

受付開始(9:30)

開会式(10:00~10:10)

(午前の部)

一般講演1 病證・日本鍼灸(10:10~11:10)

座長: 鶴田泰平

1. 「宋代における癩病について」
2. 「隋唐期までの睡眠病證」
3. 「『類証治裁』巻之首「内景綜要」の分析」
4. 「『呉氏医聖堂叢書』の鍼灸」

京都 永嶋泰玄
兵庫 橋本史代
宮城 佐々木里香
京都 湯浅宜子

一般講演2 中国鍼灸(11:15~12:15)

座長: 木場由衣登

5. 「王冰注に見える孔穴条文と『甲乙経』巻之三の比較」
6. 「宋以前の鍼灸主治条文における婦人科病證」
7. 「「食」に関する主治条文の検討」
8. 「『肘後備急方』所載の鍼灸条文」

神奈川 吉岡広記
京都 田中利江子
京都 鋤柄誉啓
京都 宮原佐和

特別講演(13:30~15:30)

座長: 浦山きか

9. 「中国伝統文化における死生観と他界観」

東京 谷野典之

(午後の部)

一般講演3 医経(15:40~16:40)

座長: 家本誠一

10. 「『靈枢』経脈篇」について」
11. 「張介賓の『靈枢』経脈篇解釈について」
12. 「「脈輪同根説」再考」
13. 「『素問』各篇経文の構成字数」

岐阜 宮川隆弘
宮城 村上理恵
宮城 浦山きか
神奈川 川添 隆

一般講演4 中国鍼灸(16:45~17:30)

座長: 浦山久嗣

14. 「過去の復元『明堂』の評価と批判」
15. 「膈俞穴の主治について~文献及び臨床的検討~」

愛媛 寺川華奈

16. 「三陰交の穴位についての検討」

愛媛 田嶋恵子・山見宝・山岡傳一郎
愛媛 山岡傳一郎・田嶋恵子・山見宝

懇親会(18:00~20:00)

本講演日程は、諸事情に鑑み、すでに配布されたプログラムの第1席と第21席、第5席と第28席の入れ替えを行った最終決定版です。学術大会へ参加される皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。(2007/11/08 学術大会実行委員会)

第2日 11月25日(日)

(午前の部)

一般講演 5 日本鍼灸 (10:00~11:00)

17. 「日本中世以前における脚気灸法の変遷」
18. 「匹地流の鍼灸書について」
19. 「宮本春仙流経穴学の考察」
20. 「『灸炳塩土伝』所収の灸法」

座長：山崎陽子
神奈川 上田善信
兵庫 岩田源太郎
東京 篠原孝市
京都 鶴田泰平

一般講演 6 中国鍼灸 (11:05~12:05)

21. 「『明堂』条文の睡眠病證」
22. 「拓本『銅人』の都数について」
23. 「南宋の鍼灸3 嘉定年間以前」
24. 「南宋の鍼灸4 宝慶年間以降」

座長：寺川華奈
大阪 二宮乾輔
大阪 木場由衣登
大阪 橋本典子・京都 大井康敬
京都 大井康敬・大阪 橋本典子

(午後の部)

一般講演 7 日本鍼灸・病證 (13:20~14:20)

25. 「『医心方』の鍼灸」
26. 「『和漢三才図会』における経絡と支體・第3報」
27. 「堀元厚・元昌の経穴書について」
28. 「後漢三国以前の古医書に見える皮膚疾患の用語」

座長：吉岡広記
宮城 浦山久嗣
茨城 荒木ひろし
大阪 山崎陽子
大阪 常磐絵里

一般講演 8 病證 (14:25~15:25)

29. 「『素問玄機原病式』における熱類と寒類の比較」
30. 「『病名彙解』所収病名の和俗名について」
31. 「『談疾語證』所収条文の引用外部分について」
32. 「『疾雅』巻一の編纂過程について」

座長：荒木ひろし
京都 中川俊之
三重 杉浦 雄
秋田 堀江 奨
神奈川 竹内 尚

一般講演 9 医経 (15:30~16:15)

33. 「予後論」
34. 「経筋について・第1報」
35. 「聖人の時代・第4報」

座長：宮川隆弘
神奈川 家本誠一
大阪 今西 健
岡山 恒枝信三

閉会式 (16:15~16:25)

日本鍼灸史学会第16回学術大会 開催予告

日時：2008年11月22日(土)~23日(日)

会場：京都市国際交流会館(予定)

内容：特別講演のほか、医経、中国鍼灸、日本鍼灸、病證、脈診、経穴に関する一般講演、シンポジウム等を予定

大会参加申込について

大会及び懇親会参加の申込につき、下記の通りご案内いたします。

大会参加費 10000円

申込方法 大会参加費は会場受付にて直接お納めください。

学会参加のお問い合わせは、下記の実行委員会宛にお願いします。

*大会参加者には、後日、「日本鍼灸史学会論文集」第4輯を進呈いたします。

懇親会参加費 4000円

申込方法 葉書、電話、ファックスにて下記実行委員会までお申し込みください。

申込先 〒227-0055 横浜市青葉区つつじが丘23-9-501 上田方

日本鍼灸史学会実行委員会 TEL・FAX 045-983-5266

「鍼灸考97論文集」、「日本鍼灸史学会論文集」第2～3輯 刊行予告

大会開催時に「鍼灸考97論文集」(予価3000円)、年内に「日本鍼灸史学会論文集」第2輯(前々回13回大会参加者には進呈。予価4000円)、第3輯(前回14回大会参加者には進呈。予価4000円)を刊行いたします。

御希望の方は、取扱書店、または日本鍼灸史学会実行委員会宛にお申し込みください。

会場のご案内

交通機関

JR・近鉄京都駅より

市バス206 / 約22分 千本丸太町、京都アスニー前下車、西へ徒歩400m

JRバス / 約20分 丸太町七本松下車

JR・地下鉄二条駅から

市バス15 / 約5分 丸太町七本松、京都アスニー前下車

京都バス61・62・63・65 / 約5分
丸太町七本松下車

JRバス / 約5分 丸太町七本松下車

お車の場合(有料)

事業等により満車となる場合もありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【京都駅からの地図】

